



いすぐみ だより

尚徳福祉会 とちょう保育園



晴れたり雨が降ったりと天気の移り変わりが多いこの時期。気温の変化も大きく暑さを感じることも増えてきたので、水分補給や服装の調節等をして健康で快適に過ごしていきたいものです。

お散歩だいすき！

晴れた日には、元気にお散歩に出発するりす組さん。保育士がお散歩の準備で帽子を出すとそれに気が付いて早く被って行きたいと帽子を指差す子もいます。玄関では靴下や靴を自分で取り出し、一生懸命自分で履こうとする姿が見られるようになってきています。自分で履けた子は自信に溢れた表情になっています。まだ自分で履くことは難しい子も靴下や靴を自分の足に当てて履きたい気持ちを表しています。そうした段階を経て自分で履けるようになっていきます。

準備ができれば、さあ出発です。散歩はバギーに乗っていく子と保育士と手を繋いで歩いていく子がいます。どの子も出発するとワクワクした表情になり、戸外の気持ち良さを肌で感じているようです。



都庁のゲートを通る時、警備員さんに「いってきまーす」とご挨拶。「タッチ!!」を交わす子もいます。橋を渡ると下の道路にバスやトラックが走っていて、「バス!」「トラック!」と車好きの子が必ず見えています。虫に興味や関心がある子が多くなり、花壇まで行くと「だんごむし」と言いながら覗き込んだり、手に乗せて動きをじっと眺めたりもしています。乳児広場でアリ研究科グループを結成し寝そべりながら、友だちや保育士と一緒に観察を楽しんでいます。「てんてん」と言いながら、てんとう虫も人気です。

保育園に戻ると、散歩で見てきた虫を絵本でもう一度楽しむ姿も見られています。



6月の目標

◎梅雨の時期を快適に過ごす。

～衣服の調節や水分補給をこまめに行いジメジメした季節を健康に過ごせるようにします～

◎好きな遊びを楽しみながら保育士や友だちと関わろうとする。

～保育士が仲立ちをしながら、少しずつ友だちとのやりとりも楽しいと感じられるようにしていきます～

おともだち、だいすき

一人遊びを楽しんでいた子どもたちですが、成長と共に周りへ目を向けるようになり、お友だちと関わりたいと世界が広がってきています。そんな子どもたちの関わりの様子をご紹介します。

◎ともだちと手を繋ぐって楽しいな

散歩で保育士と手を繋いで歩いていると、止まってしまったりしゃがみ込んでしまう場面が時々あります。そんな時、〇〇くんと手を繋いでみたら？と声を掛けてみると、ともだち大好きなりす組さんはすぐに立ち上がり“つなごう”と手を差し出して繋いで歩きだします。その時にお互い目を合わせて嬉しそうな顔になります。

◎ともだちと一緒に遊びたいな

ともだちと同じことがしたい、同じ場所にいたい、同じ玩具が欲しい、顔を触ってみたいなど、関わり方はさまざまですがどれも成長の証。まだ言葉でのやり取りは難しい分、トラブルも発生しますがそんな時は保育士が仲立ちに入っています。子どもたちに痛い思いをさせないように気をつけていきます。

☆ありがとうございました☆

先日はお忙しい中、保護者会にご出席いただきありがとうございました。おかげさまでほのぼのとした会となりました。今後も何かありましたら、いつでもお声掛けください。

